
令和5年度香川県公立高等学校入学者選抜の見直しについて

自己推薦選抜の見直し

令和5年度の香川県公立高等学校の全日制の課程の自己推薦選抜においては、以下の4点の見直しを行った。

1 自己推薦選抜実施校

これまでの実施校※に加え、高松西高校、坂出高校(普通科)において、新たに自己推薦入試を実施する。

※ 三本松高校、石田高校、志度高校、津田高校、三木高校、高松工芸高校、高松商業高校、高松東高校、高松南高校、高松北高校、香川中央高校、農業経営高校、坂出商業高校、坂出高校(音楽科)、坂出工業高校、飯山高校、丸亀城西高校、善通寺第一高校(デザイン科)、琴平高校、多度津高校、笠田高校、高瀬高校、観音寺第一高校、観音寺総合高校、高松第一高校(音楽科)以上の25校

2 自己PR書の見直しと思考力や表現力をみる面接の実施

出願時に提出する「自己PR書」の見直しを行い、高校の求める生徒像をふまえて、生徒自らが、得意分野や長所、進学目的等を積極的にアピールすることができるようにする。「自己PR書」等の内容に即した面接を行うことで、生徒の思考力や表現力をみる。

3 募集割合の拡充(弾力化)

現在、普通科20%以内、専門学科・総合学科30%以内、デザイン科・美術科・音楽科50%以内を上限としている自己推薦入試の入学定員に対する募集割合を拡充し、普通科30%以内、専門学科・総合学科50%以内とする。

4 学区の弾力的な運用

学区によって出願に制約のある普通科と理数科のうち自己推薦入試の実施校12校※における自己推薦選抜において、入学定員の5%を上限とした他学区枠を設定する。なお、入学定員の内数とする。

※ 三本松高校(普通科・理数科)、津田高校、高松東高校、高松南高校(普通科)、高松西高校、高松北高校、香川中央高校、坂出高校(普通科)、丸亀城西高校、琴平高校、高瀬高校、観音寺第一高校(普通科・理数科) 以上の12校